

GWEC 理事会の報告

日本風力発電協会 国際・広報部長 上田 悦紀

1. はじめに

AWEA Windpower 2017 に合わせて5月24日に米国カリフォルニア州Anaheimで開かれたGWEC理事会に参加したので、要旨を報告します。

2016年10月北京の理事会は欠席したので、参加は1年ぶり。今回の参加人数は欧州開催時より少なく、事務局込で22人でした(写真1)。



写真1 GWEC理事会の様子

2. 新興市場の動向

GWECは新市場開拓を重視しており、過去には中国と中南米(ブラジル・メキシコ)の成功例があります。昨年5月に就任したMorten Dyrholm新会長は特に新興国の新市場開拓に熱心です。

新興国は、市場創出の対価として、現地工場開設による地元の経済と雇用への貢献を要求するのが一般的です(現地調達率規制: LCR, Local Content Requirements)。新興国の工場開設ラッシュは、世界的な風況供給能力過剰と、欧米の在来工場の稼働率低下(更にはリストラや工場閉鎖)という副作用があります。

最近、新市場(国の規模)が小粒化して、短期間しか市場を持続できなくなっています。例えばカナダは既にピークアウト。その結果、Siemensは2017年7月に同国オンタリオ州Tillsonburgのブレード工場を閉鎖しました。

3. 南米市場(ブラジル、アルゼンチン)

人口約2億人のブラジルでさえ、大統領の汚職辞任に伴う経済停滞と系統制約から、2020年には市場低迷に陥ると予測されています(図1)。

この結果、インドの風車メーカー Suzlon は2017年7月にブラジル現地工場の閉鎖と撤退を発表しています。そこで今は隣国のアルゼンチンへの期待(約1.5GW/年)が高まっています(図2)。



図1 ブラジルの風力市場の盛衰 (GWEC調べ)

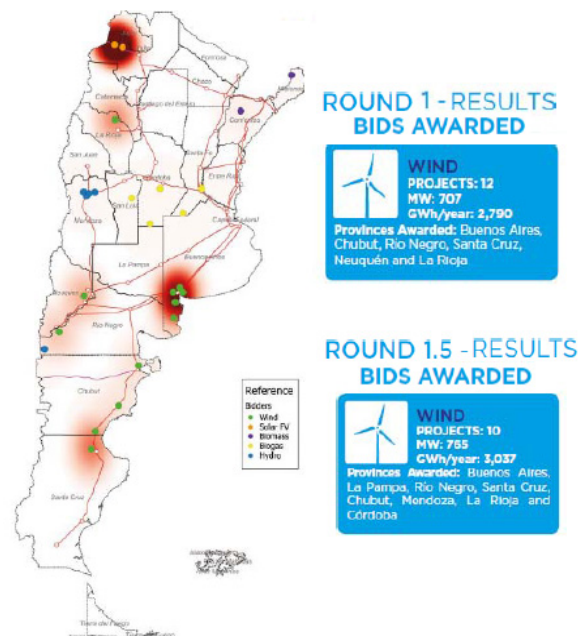


図2 アルゼンチンの風力入札の状況

4. ロシア

パリ協定を受けた外資導入を狙うロシアも風力開発を活発化させており（表 1）、GWEC に度々アプローチがあります。しかし、ロシアは高い現地調達率規制（40～65%、表 2）や、政治的不透明性のカントリーリスクが高く、GWEC としては、積極的な関与は控えて、慎重に見守る姿勢です。

ロシアは大国で潜在的な大市場として魅力があり、Vestas や Siemens は現地工場の開設と市場参入を表明しています。日本では駒井ハルテックが、寒冷地仕様の 300kW 風車で、系統的に孤立した極東～シベリア地域向けに進出しています。

表 1 ロシアの風力発電の開発計画

Period	MW	Actual in April 2017
2015	51	
2016	50	
2017	200	35 MW – Fortum JSC 51 MW – Altran LLC
2018	400	150 MW – Rosatom Group
2019	500	200 MW – Rosatom Group
2020	500	260 MW – Rosatom Group
2021	500	
2022	500	
2023	500	
2024	399	
Total	3 600	

表 2 ロシアの現地調達率規制

Approved local content	2016	2017	2018	2019 - 2024
Wind farm*	25%	40%	55%	65%

表 1, 2 の出典：ロシア風力協会（RAWI）

5. インド洋上風力開発計画（FOWIND）

GWEC と WindEurope はインド政府から同国の洋上風力開発の計画案の作成の委託を受けています。GWEC は 2016 年 6 月に必要な社会インフラ等を整理した報告書「SUPPLY CHAIN, PORT INFRASTRUCTURE AND LOGISTICS STUDY for offshore wind farm development in Gujarat

and Tamil Nadu」を発行（図 2）。しかし当初予想よりも風況が悪く、実際の着工にはまだ時間が掛かる見込み。



図 2 インド洋上風力開発計画の報告書

<http://www.fowind.in/publications/report>

6. 競合団体との差別化

従来の世界風力エネルギー協会（WWEA）に、シンガポールで新規発足した Asia Wind Energy Association (AsiaWEA) 等が加わり、風力発電の国際団体が乱立する状況です。そこで、GWEC が提供できる価値（下記）を最大化するために、体制変更を含む検討を始めました。

- Market making
- Consultancy service
- Networking
- Information & Intelligence
- Visibility
- Influence the development of industry

7. 次回理事会は 11 月アムステルダム

次回の秋の理事会は、体制変更をより多くの出席者が議論できるように、恒例の北京（China Windpower 2017）ではなく、本拠ブリュッセルに近いオランダのアムステルダムでの開催（11 月末の WindEurope Conference & Exhibition 2017 に併催）になりました。